

まち運営会議（第 89 回）議事録（概要）

平成 30 年 10 月 26 日 18:30～19:55 自由が丘会館 3F

議長 卯月盛男

議題 報告事項

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| 1. 自由が丘×東京藝大アート&デザインプロジェクトについて | ジェイ・スピリット |
| 2. 自由が丘駅前西及び北地区の街づくり検討会第 1 回の内容 | 目黒区地区整備課 |
| 3. 自由が丘周辺地区グランドデザイン策定協議会第 1 回の内容 その 2 | ジェイ・スピリット |
| 4. 自由が丘地区街並み形成指針の改定案の内容 | 街並み形成委員会 |
| 5. 子育て世代のための都市基盤整備社会実験 | 東京都市大学 |

資料

1. ちらし：自由が丘×東京芸大アート&デザインプロジェクト——まちなかアートフェスタ——
2. 自由が丘駅前西及び北地区 街づくり検討会ニュース 第 2 号
3. ちらし：ママと赤ちゃんにやさしい自由が丘のまちづくりプロジェクト

●代表 ご出席ありがとうございます。自由が丘 3 丁目の約 1000 坪の土地を遺族から目黒区へ寄付する申し出があり、それを私達が聞いて、受け入れを認めるよう地元の主要な 4 団体が連名で要望書を提出した。その先のことは行政と議会が総合的に判断して決めることになる。私達としてはまちにこのような広い緑のある土地があることは望ましいので、これが実現できれば素晴らしいことと思ひ提出した。本日もよろしくお願ひいたします。

●議長 第 89 回自由が丘のまち運営会議を開催いたします。来年の今頃は 100 回になります。それまでに何ができるか、身の引き締まる思ひです。

1. 自由が丘×東京芸大アート&デザインプロジェクトについて

●事務長 昨年からはジェイ・スピリット（JS）が東京藝大と取り組んでいるプロジェクトで、今年からは東京都の広域商店街支援事業とも関連づけて、自由が丘商店街振興組合と台東区浅草の商店街とも連携して実施する。Project 1 は「自由が丘の自由が猫展」で、24 体の猫の彫刻を 11/3 から 12/25 まで、資料の地図にあるように金融機関とその他の場所に置く。Project 2 は「オイシイひかり」で、東京藝大のデザイン科の学生が作るひかりのオブジェが 12/2 から 12/25 まで自由が丘の駅前のタクシープールの植え込みと浅草の吾妻橋のたもとに設置される。自由が丘のものは浅草より 1.5 倍大きい。昨年は盆踊りに浅草の芸者さんが来た。自由が丘側は浅草のお祭りに参加した。Project 3 は「アートマーケット」で、藝大卒業生の作品によるアートマーケットやお菓子もある浅草伝統工芸ワークショップが 11/3-4 に駅前ロータリーで行われる。QR コードで両方のスタンプをとると、和手ぬぐいをプレゼントされる。引き換え場所は自由が丘のインフォメーションセンターで、浅草は雷門そばの仏具屋さんである。浅草と自由が丘を往き来してもらひ、東京藝大とも取り組んでいることをみなさんに知って楽しんでもらひたいと思ひている。東急電鉄にもポスターを貼ってもらひている。

- 議長 楽しいイベントですね。何かご意見はありますか。
- 自由が丘はこれまでの取組もあって野良猫がゼロであることも広報してもらえるとありがたい。
- 事務長 自由が丘は犬のまちだと思うがと藝大さんに言ったら、このまちは自由のまちで、猫がふさわしいとの印象を持ったということだった。
- イルミネーションの大雨、強風などへの対策はとられているのか。
- 事務長 藝大では屋外でこうした取組をしたことがある。目黒区や警察からもしっかりと対策をたててやって欲しいと言われている。事故が起きないように対応したい。
- 人間によるいたずらに対してはどうか。
- 事務長 植え込みの中に設置するが、自由が丘の民度の高さを期待したい。
- 議長 猫は下町にふさわしいと思った。世界のまちには豚、牛、熊の彫刻なども置かれている。まちのお店の人が色をつける所もある。自由が丘がこれからどうするか考えていくのもおもしろい。
- 代表 昨年このプロジェクトを始めるときに、こちらから条件を付けずにやった方がいいと思った。この2年の様子を見て、これからのことを考えてみたい。

2. 自由が丘駅前西及び北地区の街づくり検討会第1回の内容

●課長 自由が丘駅前西及び北地区の街づくり検討会「報告会」を10/11に行った。参会者は権利者18名、出席者26名であった。その後、当日はこういうことをやりましたというニュースを作り、権利をお持ちの方全員に今週初めに郵送した。今日の資料はこのニュースである。事務局から、7/4の設立総会後の活動状況を報告するとともに、今後のスケジュール（案）について案内した。さらに、自由が丘らしい街づくり手法として、「東京のしゃれた街並みづくり推進条例」（略称 しゃれ街）を紹介した。これは、空地や緑化等の地域貢献に応じて建物の道路斜線等の規制や容積を緩和する等、地域にあった街づくりのガイドラインを策定し、自由が丘らしい街並み、空間、土地利用を誘導する手法である。無電柱化、ゆっくり歩ける回遊動線の形成、補127号線に車交通を集約し街区内は歩行者優先ゾーンと小道の形成なども期待できるが、その内容は今後の権利者のみなさんの検討で決めることになる。この条例は、合意形成ができた地区ごとにルールを決めていける仕組みになっている。これについては、区とJSが連携して、東京都と運用について何が可能か相談している。この「しゃれ街」の活用が自由が丘には良いことだと都も思っていると報告した。

裏のページには当日に出た意見や質問の抜粋と今後のスケジュール（案）を載せた。意見として「敷地統合により大きな建物をつくるのではなく、現在の自由が丘の街並みの雰囲気を残した街づくりをしたい」があり、その回答は「より多くの権利者の方に検討会にご入会いただき、皆様に街づくりについて検討してもらい、現在の街並みを活かすなど、方向性を議論してもらいたいと考えています」である。また質問として「これまでの個別面談で、権利者からどのような意見があるのか教えてほしい」があり、その回答は「今後の検討会で、可能な限り、皆様と共有させていただきたいと思っています。また、権利者同士の意見交換を行う場として、検討会を使っただきたく考えています」である。

検討会は来年3月までに3回、次は11月に開催する。検討会と並行して、個別に権利者との話を進めて、西・北地区の街づくりについてのご理解を深めていきたい。当日は、検討会への入会を勧めた。

●議長 ありがとうございます。ご質問ご意見をどうぞ。

●私は検討会に参加しているが、入会はしていないので発言はできない。それでこの場での質問と意見である。権利者 145 名のうち入会員は 21 名である。入会しない人の理由をどう考えているか。私の意見は面談のときに話したことであるが、「都市計画道路は幹線道路と幹線道路を結ぶ目的で計画された。補 127 号線は昭和 41 年に駅広の南側が消えた。補 127 号線は条件を満たさないのではないか」と聞くと、区は「補助 46 号線が幹線になるので、幹線と幹線を結ぶことになる」と答えた。今の計画は幹線と駅を結ぶ特殊なものになっている。127 号線をまちに合った道路となるよう、柔軟な考えはできないか、そうするとまちの人の参加がもっと得られるのではないか。

●課長 もっとたくさんの方に入ってもらいたいと考えている。まちとしてどうしたらよいかを権利者同士でしっかり話し合える検討会を考えている。そのために、入会手続きもしっかりしたものになっているので、入会に躊躇する人がいるかもしれない。検討会の進め方がわからない、意見を聞いてもらえるかという人もいる。ニュースなどで、検討会をどう進めていくか説明していきたい。検討会に入ることでまちのことをしっかり考えましようと思いたい。2つ目の都市計画道路のことであるが、文書などで残っていることを調べてみた。補 127 号線は当初、昭和 22 年の計画では環八まで延びていた。昭和 41 年に補 127 号線は駅広の南側には行かないで、その代わりに補 208 号線が環八まで通り抜けるようになった。この時には、都で一斉の見直しが行われ、総延長の 49%が検討された。個別の理由の記述はなかった。補 127 号線については都内の広域的な判断として、代替の 208 号線を通すことで環八への都市計画道路に変更して、補 127 号線は鉄道と道路の乗換のできる、交通の結節点としての機能を残したと考えられる。行政はこの都市計画道路の必要性はあると考えている。従来の自動車を優先するのではなく、安全に配慮し歩行者の快適性や防災面にも配慮しつつ、日常はいこいの場として機能する、自由が丘に見合った道路になるようなイメージを持っているが、みなさまと話し合っていきたい。

●議長 ていねいな説明ありがとうございました。

●今回は第 4 次の事業化計画の優先整備路線で、2 次 3 次の時には権利者と行政は硬直状況になってしまったが、今は動き出す時だと考えている。お互いに、行政も柔軟に対処してもらいたい。

●議長 西・北の検討会はコアであり重要な会である。ここでどんな議論がされているのか、まち運営会議などでオープンにされると、まちの多くの人に共有されていく。しかし、コアと周辺の部分の両方で進めていかないと、よい事業にはならないと思う。このまち運営会議でも時間の許す限り、言いたいことが言えるようにしたい。次の議題です。

3. 自由が丘周辺地区グランドデザイン策定協議会第 1 回の内容 その 2

●代表 前回に、こういう方向で策定作業をやりますと報告した。その時、みなさんからご指摘のあったこと、①地権者の意見を広く吸い上げる、②住宅地の課題を採りあげ検討する、③都の上位計画との整合性をチェックする、その後 JS の取締役会で出たことで、④商店会同士等の提携内容と成果について振り返ってみる、⑤自然災害が多発しているので、その観点から防災の問題を検討する の 5 点を事務局の JTPA にフィードバックし、11 月の 2 回目の策定協議会に反映させる。次のまち運営会議では、その時の内容と説明の資料を出したい。今日は以上である。

●議長 次の議題に入ります。

4. 自由が丘地区街並み形成指針の改定案の内容

●主任 9月のまち運営会議で指針の改定版の内容の骨子を資料で示して説明した。現在は細かい部分を詰めている。これまでに委員会が扱った中で、なるべく良い例を写真で紹介する方向で作業を進めている。11月のまち運営会議の時には、最終版を提示できると思う。年内にまとめたい。改訂版はJSのホームページに載せる。今までもそれを見て申請してもらう方が多い。年明けから改訂版で運用していきたいと考えている。改訂版の内容についてご意見をいただきたい。特に住宅地の道沿いと駐車スペースの緑の作り方、商業ゾーンでは看板と店先の空間をどう作っていくか、良い例があれば載せていきたい。これが気に入っている、これは自由が丘らしいというものがあれば、教えて欲しい。

●議長 区の景観計画との関係はどうなっているか。

●主任 今回の改定に関しては、あまり関係なくやっている。まちの自主的な取組としてまかされているので、街づくり会社JSとして、あと何年かは頑張っていきたい。区の景観計画として進めることが具体的になったら、その特定区域は詳細なルールが決められていて、自由が丘もその候補地になっているので、時期をみて検討していくことになる。景観計画のほかに、区の地域まちづくり条例がある。これは地元が作り、地元が運用する仕組みである。景観計画は法律で決められているもので、量や用途の話は景観計画に入り込めない。地域まちづくりの認定ルールへ移行していく考えもあることなども議論はしている。

●グランドデザインを策定する時に、このことも検討したい。

●景観計画は区内の大きな建物が対象である。自由が丘の指針は任意ではあるが小さい建物も対象になっている。小さな敷地の緑の保全についても、指針はしっかり書いて協力を求めている。これからは指針の運用について区の応援をいただきたい。この区との連携とまちの良好な取組の実績が今回の改定の根幹になっている。

●議長 国土交通省は自由が丘の取組を大変評価している。地元の人達が望むものは何かをきちんと議論してほしい。法律や条例を補うのが地元の人達の考えとルールで、この3つで取り組めば評価できるものになる。銀座デザイン会議について中央区は「銀座の人がいいと思ったらいいよ」というスタンスである。銀座はデザインや壁面のこともやっているが、車の出入口を裏にすると建物の作りも変わってくる。これは景観だけのことではなくなる。景観の後ろには交通とか用途とかあるので、こういうことにも自由が丘の街並み形成指針は対応できたらよい。

●係長 区の景観計画とまちづくり条例の策定にコアに関わった。その頃、自由が丘の街並み形成指針もでき始めていたので、景観計画も目黒区全域でなく、目黒通りなどの主要道路沿いの計画だけでなく面的な計画も必要ということで、自由が丘のエリアは特定区域の候補地であると明記した。JSが区に成り代わってまちづくりを進める実力があるとして都市再生推進法人に指定している。JSはグランドデザインを作ろうとしている。実績はこれからということもあるが、実績を作ってもらって、区の景観計画に基づく特定区域とか、地域まちづくり条例もあるので、区と一緒に良いまちになるよう模索したいと思っている。

●議長 今回の指針の改定は節目でもあり、看板や屋外広告物に関するルールもあるので、商店街の人へ説明会を開いたらどうか。

●主任 毎年1回は成果発表と状況報告ができればよいと思っている。時には銀座の人も呼んで。

5. 子育て世代のための都市基盤整備社会実験

●教員 前回のまち運営会議で詳しく説明させてもらった。実施が来週に迫っているので、改めて現状を報告したい。まずは、JSや東急電鉄など地域のご協力を得られ感謝する。配布資料のちらしはもう少しきれいなものが1000部刷り上がる。対象となる来街者や地域内でも配る。駅には明日からポスターが貼りだされる。個店の集積が多い自由が丘には授乳のスペースがやや少ないので、駅近くの3か所に仮設の授乳ステーションを設置する。既存の2か所の授乳室にもセンサーを付けて、計5か所の利用状況がリアルタイムにスマホアプリで確認できる実験も工学部の教員がする。乳児連れの方にアンケートをさせてもらい授乳やまち歩きの実態を調査する。学生を設置場所と駅改札口付近に配置して、依頼と回収及び案内と警備を担当してもらおう。このアンケートの結果は地域に還元したいと思っている。

●議長 アンケートはこの期間中するのか。

●教員 全期間で実施する。乳幼児連れが対象なのでそれほど多くはない。

●議長 依頼協力の声かけが難しいだろう。

●教員 それができる学生を選んでいる。

●インターネット上での周知はどうなっているか。

●教員 大学と振興組合のホームページで行う。大学でプレスリリースもする。

●電鉄 自由が丘が赤ちゃんにやさしいまちになることはうれしいので応援したい。

●理事長 2年前にこの会館の2階に授乳室を作って、それなりに好評を得ている。このプロジェクトの成果も参考にして、この先まちとしてどうするか考えたい。

●今回はアンケートの謝礼にQUOカードを使うそうだが、まちと関係のある特別なものを使用することを考えたらよいのでは。

●教員 何がよいか検討したときに、自由が丘独自のものはないとのことだった。

●東京メトロには「24時間券」の前売り券が600円で、発売日から6か月以内の1日において、使用開始から24時間に限り有効、東京メトロ全線で乗り降り自由なものがある。便利である。また、これからもまちと関係する企画がでるだろうが、前もって何かアイデアはないか呼びかけてほしい。自由が丘の文化の雰囲気づくりということでは、10数軒の画廊もあり、民族衣裳や美術品・宝飾品や書の展示場もある。そのツアーやスタンプラリー、在住の文化人のトークも好評を得られると思う。自由が丘を活かすイベントになる。

●議長 この会が月に1回になったので、可能な範囲で企画をここに出してもらってアイデアをいただくこともこの会の重要な役割だと思っている。

●まちにおける弱者への対応ということでは、女神まつりのステージの催し物で、障害者に専用の席を用意してもらえるとありがたいと車椅子の利用者から聞いた。

●理事長 障害者への対応が後手後手になりがちである。事前にスペースを確保し、安全やルートの確保にも対応したい。女神まつりは3日間、おかげさまで無事に終了した。駅の乗降客は45万人であった。これは去年の4%、17000人アップで、去年は一昨年の4%アップであった。期待されていることはうれしい。ステージのアーティストによって聞きに来る世代が違ったのも関係あるかもしれない。31日に反省会があるので、障害者対応についても出したい。

●議長 これで終わります。ご協力ありがとうございました。